

提案団体名: 三菱電機株式会社

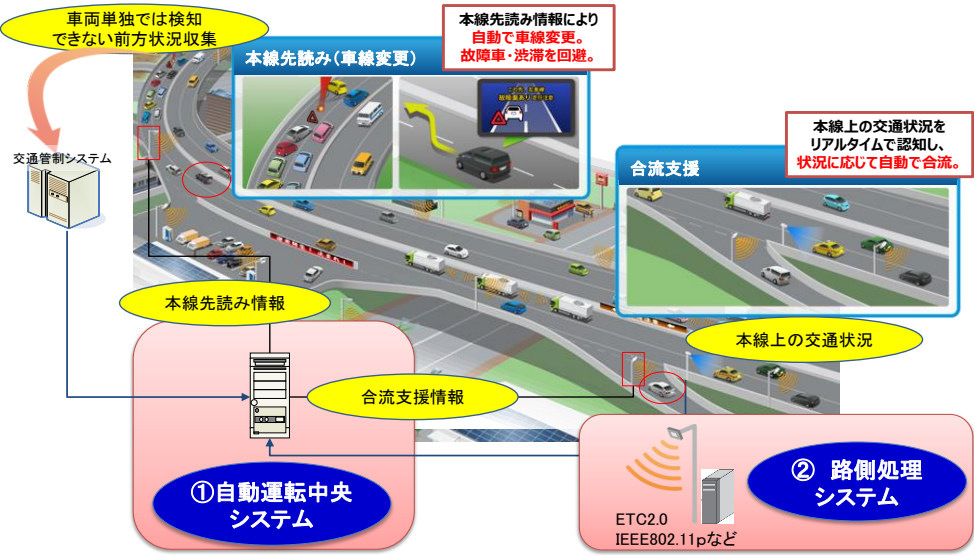
○提案内容

<p>(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等          ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください</p>	
技術の概要・実績等	技術の分野
<p>1. インフラ協調型自動運転システム          ・データを収集及び配信する路車間通信技術。ETC/ETC2.0路車機器提供など種々の路車間通信技術を保有。          ・交通流データを収集・生成(分析、加工)・配信するデータの保有、活用技術。など</p>	(6)
<p>2. 再エネ活用・直流配電システム          ・再エネ(PV・蓄電池・EV)の最適活用を実現する技術。          ・直流配電システムの適用により更なる省エネを実現する技術。</p>	(2)
<p>3. 地域アセットマネジメント          ・インフラデータ(3次元点群データ、画像データ、台帳、点検調書、図面等)を相互連携し統合管理する技術          ・地域のインフラデータを統合管理する技術</p>	(5) (7)
<p>(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ          ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください</p>	
解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>1. インフラ協調型自動運転システム          ・路車間通信により、車両とインフラが情報をやり取りし、自動運転に必要な情報を的確・迅速に生成・配信することで、自律走行では困難な状況においても自動運転を支援するシステム。  <b>【詳細】</b>          添付資料 1. インフラ協調型自動運転システムイメージを参照ください。</p>	(ア)
<p>2. 再エネ活用・直流配電システム  <b>【課題】</b>          平常時・災害時におけるエネルギー自給率の向上と温室効果ガス削減、需要家のRE100実現に向けた取組みの推進。  <b>【解決策】</b>          ・再エネを中心としたエネルギーの自給と、系統と需要家とのバランス図るための蓄電システム活用を、EMSで最適運用。          ・EV普及に向け、エネルギーリソースとしての活用とBCP対策としての活用を、EMSで最適運用。          ・更なる省エネ実現のため、直流配電システムの実装を実現。  <b>【詳細】</b>          添付資料 2. 再エネ活用・直流配電システムイメージを参照ください。</p>	(イ)
<p>3. 地域統合アセットマネジメントシステム  <b>【課題】</b>          市町村では、人口減による税収の減少、点検技術職員の減少によりインフラ維持管理が十分に実施できない。  <b>【解決策】</b>          ・地域インフラモニタリングシステム(走行型計測による3次元点群データ・画像データの取得)で網羅的に地域インフラデータを取得し、点検調書や台帳、図面、評価データと併せ地域アセットマネジメントシステムにより統合管理する。          ・統合管理するデータを活用し、LCC算出・経年変化予測を実施し、地域全体での維持管理投資の最適化を図る。  <b>【詳細】</b>          添付資料 3. 地域統合アセットマネジメントシステムイメージを参照ください。</p>	(エ)
<p>(3) その他</p>	

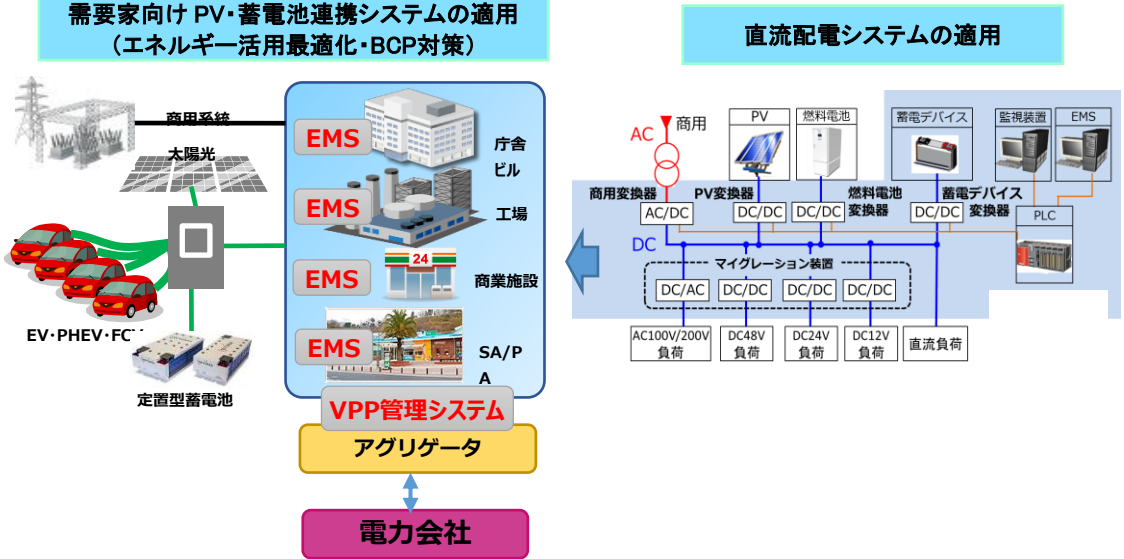
○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
スマートコミュニティ・グローバル事業推進部	小林 弘幸	03-3218-3369	<a href="mailto:Kobayashi.Hiroyuki@aj.MitsubishiElectric.co.jp">Kobayashi.Hiroyuki@aj.MitsubishiElectric.co.jp</a>

添付資料1. インフラ協調型自動運転システムイメージ



添付資料2. 再エネ活用・直流配電システム  
需要家向けPV・蓄電池連携システムの適用  
(エネルギー活用最適化・BCP対策)



添付資料3. 地域統合アセットマネジメントシステムイメージ

